

～2022年度の京都府地域交響プロジェクトの助成金を活用して行った、支援者向き講座③～

**【知っておきたい 生れた時から首がすわる頃までの赤ちゃんのだっこのアドバイス】**

**10月11日～14日 講師：吉田敦子さん**

♡♡ **第三弾**

## 京都のいろんなところで 学ぼう・語ろう・つながろう

知っておきたい 生れた時から首がすわる頃までの  
赤ちゃんのだっこのアドバイス

パパママ教室などでは、沐浴などの実習はあるけれども、「そういえばだっこって買ったかしら？」  
と思ったことはありませんか？  
今、赤ちゃんの出生数が減り、地域のつながりも減り、コロナの影響もあり、ママやパパになる方達は、  
赤ちゃんをだっこしたことがないまま親になるひとの方が多いのです。  
「だっこ」には、声かけ、触れ方、赤ちゃんの身体の事、タイミング、リズムなどいろいろポイント  
があります。講師の吉田敦子さんは、このあたりを本当に丁寧に教えて下さるので、次の日から支援  
の現場に活かしていただけますよ。

**京都で、首がすわるまでの赤ちゃんの抱っこの事を  
丁寧に伝えられる人が増えることを願って、  
この講座を行います。**

**日時：2022年10月11日(火)～14日(金)**  
4日間で7回、同じ内容にて開催いたします

場 所：宇治／与謝野町／南丹市  
参加費：1,000円  
定 員：会場により変わります。詳しくは裏面をご覧ください。(要申込)  
対 象：子育て支援関係者、保育関係者、助産師、保健師、産後ケア、他この講座を受けてみたい方で、  
具体的に活かして行く現場のある方。学生も可。  
\*都府内の講座ではなく、支援する人がアドバイスのポイントを学ぶ講座です。  
申 込：フォームからお申し込みください。  
<https://form.os7.biz/f/be331d92/>  
\*先着順より、申し込み理由を優先する場合がありますご了承ください。

主催：お問合せ先 子育ての文化研究所 〒611-0031 京都府宇治市広野町寺山45-5  
代表 奥まり子 / 事務局長 辻きよみ  
<http://www.kosodate-bunka.jp/> E-mail: [info@kosodate-bunka.jp](mailto:info@kosodate-bunka.jp)

令和4年度京都府地域交響プロジェクト事業

ホームページ  
見てね!



今年度4人の講師を迎え、いずれも宇治市での開催となりましたが、この4日間、8回の講座は、京都府下、どこにおられる支援者にも、実際に講師と対面して頂き、実技だけでなく、心のありようも含めて感じ取って頂きたいと思い、8回の開催、京都府北部の与謝野町や、中部の南丹市八木でも実施いたしました。参加下さったのは、つどいの広場等のスタッフだけでなく、ベビーシッター、保育士、助産師、幼稚園の子育て支援担当、看護師、産後ケアアンバサダー、保健師、歯科衛生士、産前産後ケアホテル運営者、産後ドゥーラ、など多様な肩書をお持ちの方で、そのほとんどが、口コミ情報でお集まりになりました。

現場にいと、赤ちゃんの子育てで一番気になることとして、首が据わる前の赤ちゃんが、この10年余りの間に、縦抱きされる(首が据わっていないので良くない)ことに何の不安も持たない親が多くなったことが挙げられます。このことを、どのように親に伝えるのか、また、実際にどういう風に説明し、納得してもらえるかに苦心しておられたようで、ニーズに合致し、タイムリーな講座となりました。

そこで、この2時間の講座内容としては、実際に指導できるまでの実力をつけるために、座学の部分と、3つの抱き方の実技で構成しました。また、この内容を、より多くの人に活用して頂くために、記録を編集して、動画を作成、それを公開することにしました。現在、団体のHPにアップしております。支援者の方にも、これから親になる方や、赤ちゃんと関わる方の多くに見ていただければと思います。

- ①そっとすくって優しい両手だっこ
- ②親も赤ちゃんも楽チン回転だっこ①～狭いところ～
- ③親も赤ちゃんも楽チン回転だっこ②～平らなところ～

【参加された方からの声】

Q: 参考になったこと・学んでよかったことは何ですか？

A: 「生まれる」赤ちゃんにとって、「外界への生活への適応」がスムーズにできるようにお世話をしている、という視点。とても参考になりました。

「なじみにくい子」「なじめない子」が多くなっているというお話から、その赤ちゃんの父母も、この地球になじもうとしている最中なのかなと思いました。その親子さんが「なじめる」ように、安心して心地好く親子さんが暮らしていけるように、見守り、時にはサポートしていきたいと改めて思いました。本当にありがとうございました。

A: 首座り前の赤ちゃんを、横から抱っこする優しい抱き方は、目から鱗でした。

お腹の中にいた赤ちゃんが、外の世界にでて生活することが、どれだけ大変なことか。赤ちゃんの身になって考えると、接し方も変わってくることが再認識できました。

ママと赤ちゃんに寄り添いつつ、赤ちゃんの通訳者になれるように、少しずつ支援の質を広げていきたいと思います。

A: ・イマドキの赤ちゃんとお母さんの事

- ・赤ちゃんについて、胎児期からのお話や感情の話
- ・『正しい抱っこ』というものは無い、目的に合った都合の良い抱き方がある。
- ・赤ちゃんに聞くという事
- ・産後の身体についての話、腹巻が良いこと
- ・体操

先生のお話が、とてもわかりやすく、よく理解できました。

先生の赤ちゃんとお母さんへの思いやりあるお話が、とても良かったです。

A: 首すわりまえのあかちゃん、月齢の小さい赤ちゃんを抱き上げる時の所作について、細かく丁寧に学ぶことができました。

いかにデリケートに扱うか、丁寧にしているつもりでも雑な部分があったり、動きが早過ぎていたことがよく分かりました。

抱き上げると、床からの高低差が赤ちゃんの背丈ぐらい、とすることにハッとしました。

抱く人の体と心の安定が大切、お母さんのメンタルヘルスをよく観察することの重要性について学びました。

Q: 今後役に立ちそうなこと。明日から役に立ちそうなことがあれば、お聞かせ下さい。

A: 講座の翌日、ちょうど生後2ヶ月の赤ちゃんがひろばに来られたので、早速他のスタッフと教えていただいた抱き方を練習させていただきました。

上のお子さんがおられるので、普段は抱っこひもで縦抱きが主流のようで、横抱きでは、泣きはしないが眉をひそめ「不快感」を表してくれ、縦抱きにすると笑顔になりました。

赤ちゃんの観察は楽しいものです。改めてお母さんと赤ちゃんを観察する時間を楽しみ、赤ちゃんの通

訳者になりたいなと思いました。

A: お話の全てが 役に立つ内容でした。

早い時期からの抱っこ、股の間に手を入れる抱っこなど、声かけに戸惑うこと、モヤモヤしていたことが解決しそうです。

赤ちゃんとお母さんの様子をよく見ようと思います。

学んだ内容を生かして、より良い寄り添いができるように。

簡単でとてもリラックス出来る体操、活用したいと思います。

マタニティ期や産後の早めに伝えたい内容だと思ったので、今以上にマタニティ期から来てもらえる仕組みをつくりたいです。

ひろばで布を使った抱っこをしてみます。

今回の学びで、また心新たに、心優しく、赤ちゃんとお母さんに寄り添える気がしています。

今回 受講して本当によかったです。ありがとうございました。

A: 赤ちゃんにとってどうですか?の視点、赤ちゃんの声聞いてみようということ これまで以上に伝えたい。また、上に書いたように、抱き上げた時の高さは赤ちゃんから見たらすごい高さなんだよ、と伝えたいです。

おくるみ利用のこと。首が座っていても頭を支えることが何故大事か。

抱く時の足腰の使い方、また抱きやすいからだのためのほぐし体操、などなど、いっぱい。

Q: 受講しての感想やおもいは?

A: 本当に有意義な時間でした。

先生の絵本を早速購入し、年長と小3の子どもに、読み聞かせをすると、なんとも真剣な眼差しで見て聴いており、「最後は、え?こんな早くに歩けるようになるん?」と疑問を持ち、そこから話が膨らみ、自分たちの子供の頃の話をかかせてあげました。子どもなりに発達に関心を持ったようです。“見通しを持つ”ということが、生まれてくる赤ちゃんの兄姉にとっても、赤ちゃんをお世話する周りの人にとって、とっても大切なことなんだな〜と、改めて感じました。

本でも勉強させて頂きたいと思います。機会をくださり、有難うございました。

A: どのお話もとても興味深かったです。

今日ほど赤ちゃんの気持ちを想像したことはありません。昔辛かった我が子の夜泣きも今なら「大丈夫。ゆっくり外の世界に馴染んでいこうね。」という気持ちになれます。今日学んだことをひろばで活かしていきたいです。ありがとうございました。

A: ひろばにこられた利用者の赤ちゃんを抱っこさせてもらうことがたくさんありますが、また経験値を高めることができたなと思います。

抱っこさせてもらえる赤ちゃんとコミュニケーションをとりながらより「どんな感じ?」と様子を見ながら心地よい抱っこを上達させて行けたらと思いました。

今日は本当に深い学びができたと思います。ありがとうございました。

A: 最近、パパの育児参加が大幅に増えてきています。嬉しいことで見ても微笑ましい場面が多いです。宙を浮くような抱っこをされるパパや、見えないくらいギュッとされるパパなど色々ですが愛情があふれてるのが伝わってきます。しかし、ママ以上に育児に模索されてる方が多いように思います。

パパ向けの気軽な講座や学びが増えればいいなとおもいます。ありがとうございました。